※令和４年度以降入学生用

学校番号	３１９

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	芸術表現 A	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・自らの発想を自らの手作業を通して作品に作り上げることで、創作活動の素晴らしさを実感して貰えればと考えています。
・日常生活の中における美術作品のもたらす有用性を、自らの制作を通して理解しても貰えたらと考えています。
・作品の完成度だけではなく、制作に取り組む姿勢を重視します。

2　学習の到達目標

・制作を通して各種用具や画材の特性を理解し、その使用方法を習得する。
・各種用具や画材の特性を理解し、自らの作品に活かすことで表現の幅を広げる。
・制作を通して、社会における美術作品の有用性を知るとともに、芸術活動全般についての理解を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に着け、意図に応じて表現方法を創意工夫している。	参考作品から想像力を働かせ、その美しさや機能性を感じ取り、感性を働かせて自らの作品に反映させている。	美術作品や美術文化と豊かにかかわり、主体的に表現および鑑賞の創作活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	建築模型の制作	［立体造形］ 「水上ハウス」の制作をテーマに、バルサ材を主とした各種素材を用いて家屋のミニチュアを制作する。 ・液晶プロジェクターによる課題説明。 ・建物の建築条件の説明。 ・アイデアスケッチの制作。 ・建物以外の付属物（樹木や船舶等）の制作。	a：素材の特性を理解する。 b：絵具等を用いず、素材の質感だけで自らのイメージを表現しようとしている。 c：自ら設定したコンセプトに沿って、各種素材の特性を活かし、実現可能な生活空間を制作しようとしている。	提出作品	作業状況の観察	提出作品
	絵画	「自画像素描」 「自画像」をキュビズム的表現方法を踏まえて、素描の技法を用いて表現する。 ・キュビズムについて学ぶ。 ・各自のスマホでいろんな表情を自撮りし、それを元に習作を制作する。 ・習作の制作。黒マーカーペンを用いて「喜怒哀楽」の表情を素描の技法で複数枚制作する。 ・墨汁と毛筆を使用し、提出作品を制作する。	a：短時間で描写する技能を習得する。 b：喜怒哀楽のそれぞれの表情の変化を観察し、自らの作品に反映している。 c：習作作品枚数の多寡。	作業状況の観察	提出作品	作業状況の観察

※令和４年度以降入学生用

後期	切り絵	「百人一首の絵札を題材とした切り絵の制作」 ・液晶プロジェクターによる課題説明。 ・切り絵の基本を学ぶのための小作品の制作。 ・コピー機を用いて絵札を A3 の大きさに拡大し、すべての絵柄と文字がつながるように任意の模様を作画し原画を作成する。 ・黒ケント紙に原画を重ね、カットする。 ・完成作品をラミネートフィルムで保護する。	a:切り絵の持つ独自の表現効果を理解し、自分の作品に積極的に活かしていこうとしている。 b:本来の絵札を独自の発想でオリジナルの絵札に作り上げる。 c:ペン型カッターナイフの機能を理解し、自分の作品に活用しようとしている。	提出作品	作業状況の観察	提出作品

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度